

2010 年度報告書（研究員）

氏 名	櫻田涼子
職 位	短時間研究員
<p>研究概要</p> <p>これまでの研究では、住宅と居住者の相互交渉的関係の人類学的解明を目指してきたが、2010 年度は、移動するマレーシア華人女性にとって家の維持と子どもの養育がいかにして行われているのかという点を明らかにするために、次世代ユニット研究「都市と故郷の往還的移動による家の維持：マレーシア華人社会における女性の労働と子どもの養育をめぐる人類学的研究」に携わり 2 度の現地調査を実施した。その結果、以下の点が明らかとなった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 母親の賃金労働への従事は、子どもの養育に優先する場合が多い 2. 都市への移住が多い地域では、女性の婚出後も母方親族との密接な紐帯が維持される 3. 子どもの養育はリタイアした祖父母が担う事例が多いが、祖父母が養育に関われない場合に外部（ナーシングマザー・ナーサリー）サービスを受ける事例が多かった。 <p>なお本研究の成果の一部は、12 月に実施された第三回次世代グローバルワークショップにおいて発表した（以下の業績リスト 2）。</p> <p>また、7 月 25 日～9 月 26 日の 2 か月間、「組織的な若手研究者等海外派遣プログラム（京都エラスムス計画）」中国社会研究短期集中プログラムに参加し、南京大学海外教育学院において語学研修に参加しながら研究課題「中国都市部における婚姻と新規住宅取得に関する人類学的研究：南京市周辺を事例として」を実施した。</p> <p>本研究では南京市周辺地域における漢族の婚姻と住宅取得の事例から、漢民族社会における住宅と家族がどのような関係にあるのか、特に社会的関係あるいはプロセスとしての住宅という側面に着目することにより、従来の贈与交換論とは異なる視点から中国都市部における婚姻を契機にやり取りされる住宅という交換財と人びとの関係について検証することを目的とした。本研究の成果の一部は、報告論文（業績リスト 1）としてまとめた。</p> <p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. SAKURADA, Ryoko. 2011. "Social Relations of Marriage and House." In <i>The Reports of the Intensive Social Research Program on Chinese Society of Kyoto Erasmus Project 2010: Urban and Rural Areas in Nanjing City and Southern Jiangsu Province</i>, edited by Meari HIRAI and Taisho NAKAYAMA. 9-19. 2. SAKURADA, Ryoko. 2010. "Connecting Places: Women's Circular Networks and Child-rearing Practices among Chinese Malaysians." <i>Proceedings of the 3rd Next-Generation Global Workshop, Kyoto University Global COE "Migration: Global Reconstruction of Intimate and Public Spheres"</i> 3. 「モノ化する社会関係—マレーシア華人社会における広告記事を事例として」華僑華人学会「華僑華人分析にみる文字資料の資料的価値の検討—韓民族からみる漢民族」、2010 年 12 月、於：東亜大学。 4. 「低価格住宅団地におけるマレーシア華人の住宅改造と住まいの諸実践」日本マレーシア学会関西例会、2010 年 11 月、於：大阪市立大学。 	

